実践する広報
地域活動における下水道資源の農業利用

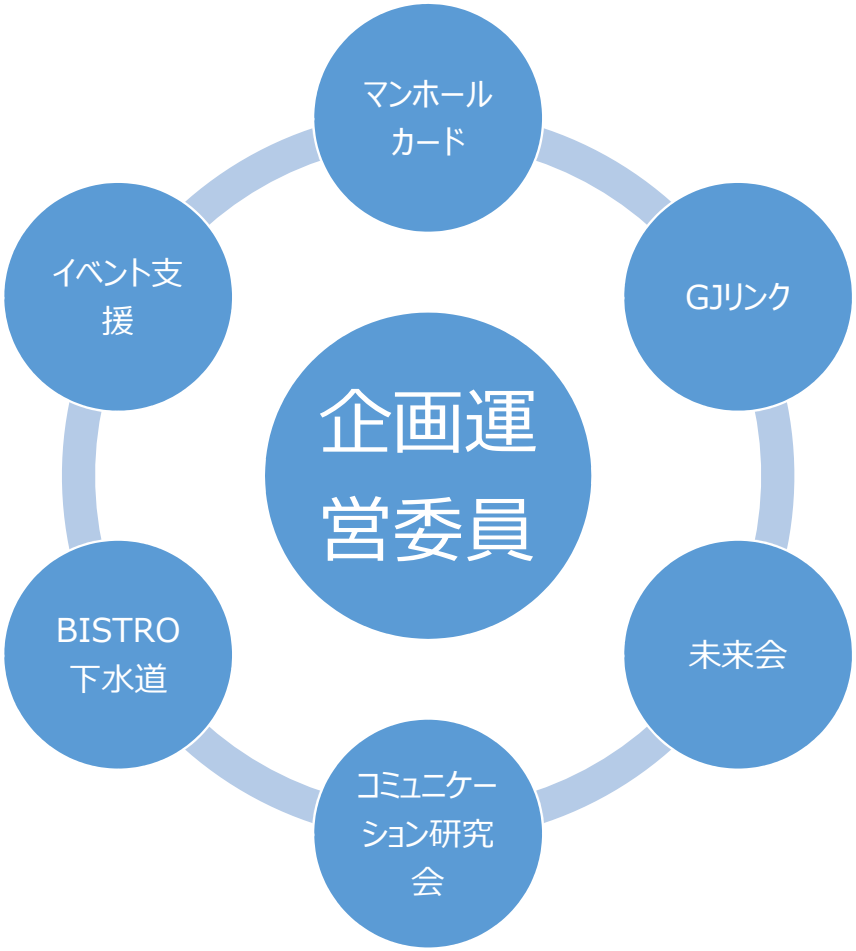
じゅんかん育ち栽培トライアル in 富士見町

2020年12月

下水道広報プラットホーム（GKP）BISTRO下水道チーム
馬淵 沙織

G K P

下水道広報プラットホーム


企画運営委員
マンホールカード
GJリンク
未来会
コミュニケーション研究会
BISTRO下水道
イベント支援

活動目的

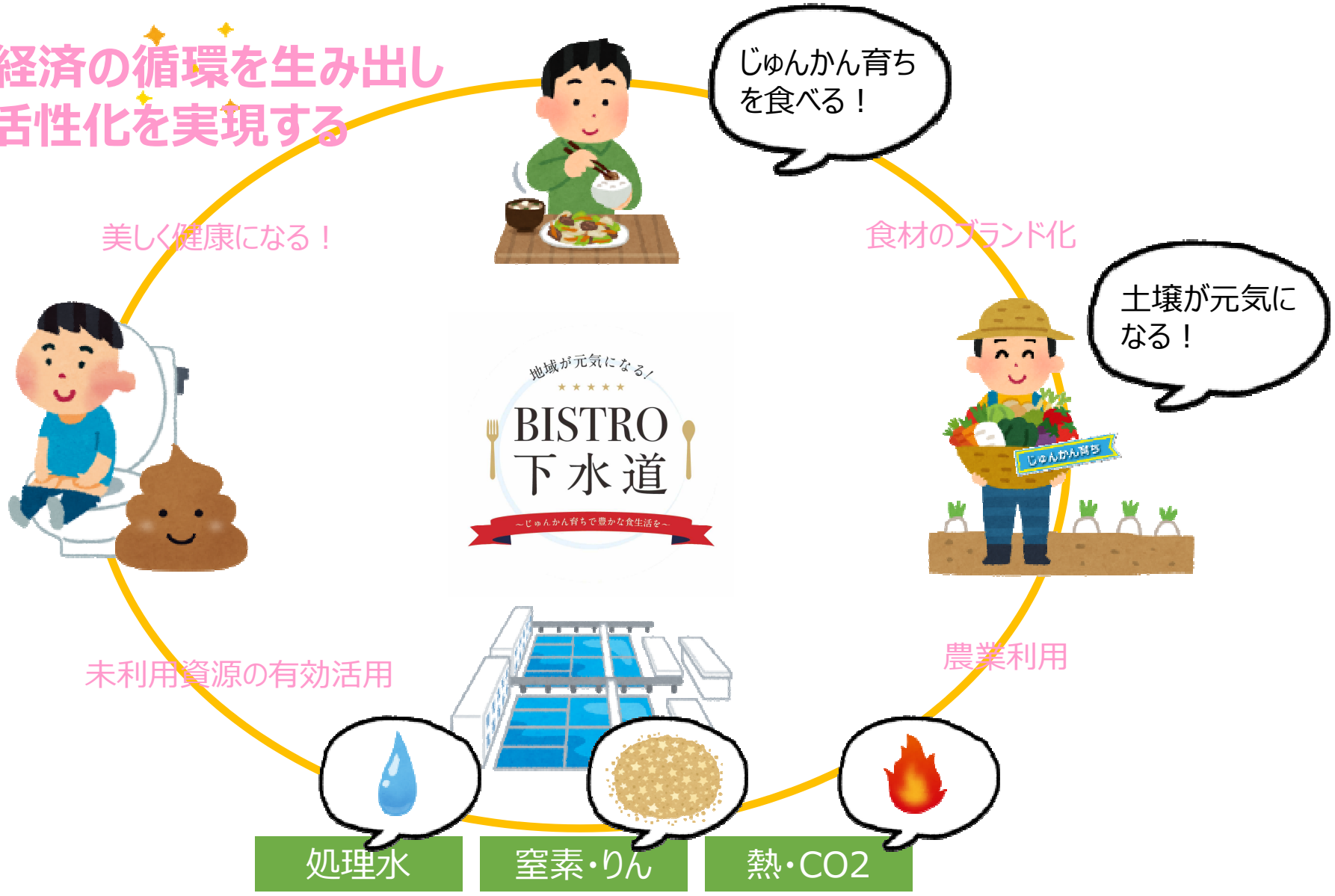
広報を通して仲間(ファン)を増やす！

活動内容

平成25年　国交省　BISTRO下水道スタート
平成27年　下水道法改正
平成29年　ブランドネーム「**じゅんかん育ち**」決定
平成30年　**じゅんかん育ち通信**の配信スタート
令和元年　じゅんかん育ち**栽培トライアル**in富士見町

じゅんかん育ち

食・資源・経済の循環を生み出し
地域活性化を実現する



取材実績

BISTRO下水道成功のエッセンス

- 地域活性のための手段
- リーダー（ビジョン・戦略・愛）
- 仲間（共感）
- 広報（デザイン・メディア）

・なぜBISTRO下水道をやるのか

・誰とやるのか

・じゅんかん育ちをどこでどうやって育てる？

・下水道資源をどこで手に入れる？

・育ててどうする？

・**なぜBISTRO下水道をやるのか**
→富士見町の地域活性化（資源・食・経済の好循環）
・**誰とやるのか**
→地域おこし協力隊（当時）久保有美さん
・**じゅんかん育ちをどこでどうやって育てる？**
→地元の農家さんに協力をいただく
・**下水道資源をどこで手に入れる？**
→佐賀市、鶴岡市から提供（ゆくゆくは町内）
・**育ててどうする？**
→ブランド化して町の特産品として販売

つくえラボ

×

GKP

じゅんかん育ち栽培トライアル in 富士見町

つくえラボ団体概要

団体名　つくえラボ
所在地　長野県諏訪郡富士見町落合机5949
代　　表　久保 有美
設　　立　2019年12月15日
事　　業　地域福祉×観光×農業

「共に感じ、共に楽しむ！」をモットーに体験を共有する場所（居場所）づくりを目指します。この居場所を通じて、年齢、性別、障害の有無に拘わらず、地域住民同士、地域と外部、多世代間など多くの人々が交流する機会を提供し、地域の窓口として、地域活性化を図ること、移住定住、空き家・遊休農地などの町の課題解決に繋げることを目的とする。

つくえラボ取り組み

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

古民家改修

協力：富士見町社会福祉協議会

畑作部・稲作部

協力：下水道広報プラットホーム（GKP）

つくえラボ

×

GKP

じゅんかん育ち栽培トライアル in 富士見町

つくえラボ
畑作部・稲作部
×
GKP
つくえラボでは
下水道資源 を有効
利用した堆肥を使い、
「じゅんかん育ち」
の野菜と米作りに
チャレンジしています。

つくえラボ 2020
富士見町机産
じゆんかん育ちの
コシヒカリ

かがやきはたけ 2

・**なぜBISTRO下水道をやるのか**
→富士見町の地域活性化（資源・食・経済の好循環）
・**誰とやるのか**
→地域おこし協力隊（当時）久保有美さん
・**じゅんかん育ちをどこでどうやって育てる？**
→地元の農家さんに協力をいただく
・**下水道資源をどこで手に入れる？**
→佐賀市、鶴岡市から提供（ゆくゆくは町内）
・**育ててどうする？**
→ふるさと納税の返礼品、道の駅での販売

より深い共感を生み出すため、
実際にやってみた！

↓

実践する広報

じゅんかん育ち栽培トライアル in 富士見町

じゅんかん育ち栽培トライアルの今後・・・

生産量の拡大・品質向上
オリジナルメニューの開発
田んぼオーナー制度の実施

最新情報は

じゅんかん育ち通信

つくえラボ